

東証プライム 4631

# DIC株式会社

2026年度第 1 四半期決算説明資料

2026年 5 月



**DIC 株式会社**

# ハイライト

## Q1の振り返り

売上高

**2,825億円**

前年同期比 **+7.8%**

- 旺盛な半導体需要により、成長事業であるケミトロニクス事業が24.1%の大幅増収
- 加えて、円安による為替換算影響が売上高を押し上げた

営業利益

**245億円**

前年同期比 **+87.7%**

- 高付加価値製品の出荷が拡大し、利益率が向上した
- 海外の顔料製造拠点で、過年度に計上した修繕に関する負債が不要になったことに伴い、58億円の取り崩しをしたことなどが一時的な増益要因となった

四半期純利益

**192億円**

前年同期比 **+214.7%**

- 前年に発生した新興国通貨安に伴う為替差損が減少し、経常利益が増加した
- 美術品売却益28億円を計上し、特別利益が増加した
- 親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期の61億円から大幅な増益となった

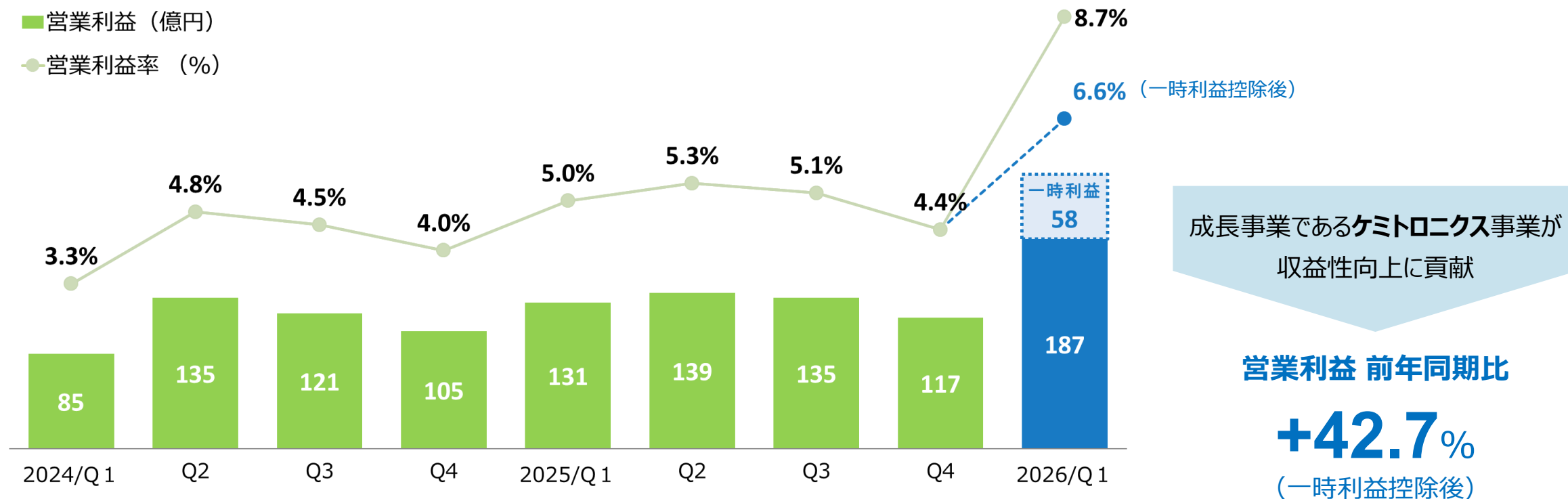
## 2026年の見通し

**変更なし**

- 中東情勢の影響額を合理的に算定することが困難であるため、上期並びに通期業績見通しを据え置く
- 年間配当140円の計画に変更なし

# 四半期営業利益推移

- 一時利益控除後の2026年Q1営業利益は187億円（年間見通しに対する進捗率33%）、営業利益率は6.6%となった
- 過去2年間にわたる基盤づくりの期間を経て、営業利益率はC&E顔料事業買収前の水準（6～7%）まで回復



## 中東情勢の当社事業への影響について

- 当社製品の原料は、約 7 割が石油化学製品であるため、中東情勢の悪化により原料の調達制約や価格高騰という形で今後直接的な影響を受ける見通し
  - 原料の調達制約リスク：主に中東産ナフサへの依存度が高い日本で想定
  - 原料価格の高騰リスク：日本、米州・欧州、アジア各地域で想定
- グループ全体をあげて必要となる原料の確保、原料コストの上昇に対するタイムリーな価格対応、追加のコスト削減策の実施などに取り組み、事業への影響を最小化する
  - グローバルに拠点を持つ強みを活かし、地域間で原料や製品を融通し、影響の低減を図る
  - 調達先の分散により原料の安定確保に努めるとともに、タイムリーな価格対応を実施

# 連結損益計算書

(億円)	2025 Q1	2026 Q1	増 減	増減比	現地通貨ベース 増減比
<b>売上高</b>	<b>2,621</b>	<b>2,825</b>	<b>204</b>	<b>+ 7.8%</b>	<b>+ 1.8%</b>
売上原価	△ 2,038	△ 2,131	△ 93		
販売費及び一般管理費	△ 453	△ 449	4		
<b>営業利益</b>	<b>131</b>	<b>245</b>	<b>115</b>	<b>+ 87.7%</b>	<b>+ 75.7%</b>
<b>営業利益率</b>	<b>5.0%</b>	<b>8.7%</b>	-		
金融収支	△ 9	△ 8	1		
持分法投資損益	△ 3	14	17		
為替差損益	△ 17	0	18		
その他	△ 3	△ 13	△ 11		
<b>経常利益</b>	<b>99</b>	<b>239</b>	<b>140</b>	<b>+ 141.4%</b>	
特別利益	9	31	21		
特別損失	△ 8	△ 20	△ 12		
税前利益	101	250	149		
法人税等	△ 38	△ 55	△ 16		
四半期純利益	62	195	133		
非支配株主に帰属する四半期純利益	△ 1	△ 3	△ 2		
<b>親会社株主に帰属する四半期純利益</b>	<b>61</b>	<b>192</b>	<b>131</b>	<b>+ 214.7%</b>	
<b>EBITDA*</b>	<b>244</b>	<b>393</b>	<b>149</b>	<b>+ 61.0%</b>	

\*EBITDA：親会社株主に帰属する四半期純利益＋法人税等合計＋支払利息－受取利息＋減価償却費＋のれん償却額

特別損益の内訳	2025 Q1	2026 Q1
<b>特別利益</b>		
美術品売却益	-	28
補助金収入	-	3
固定資産売却益	6	-
関係会社株式及び出資金売却益	3	-

<b>特別損失</b>		
関係会社整理損	-	△ 9
リストラ関連退職損失	△ 4	△ 6
固定資産処分損	△ 4	△ 5

■ 平均レート	2025 Q1	2026 Q1
USD/円	152.46	156.49
EUR/円	160.52	183.01

## 財務体質

- ネットD/Eレシオ0.8倍以下を目標としながら、戦略投資と株主還元によりバランス良く資金を投入することをキャッシュアロケーション方針としている
- 実績のネットD/Eレシオは、計画水準に沿って推移している

(億円)	2025 期末	2026 3月末	増減
ネット有利子負債	3,894	3,894	△ 0
自己資本	4,709	4,829	120
ネットD/Eレシオ *1	0.83倍	0.81倍	
自己資本比率	37.0%	37.0%	
1株当たり純資産 (円)	4,973.39	5,099.59	

\*1 ネットD/Eレシオ： ネット有利子負債／自己資本

❗ 円安が進んだため為替換算調整勘定が増加 (+78)

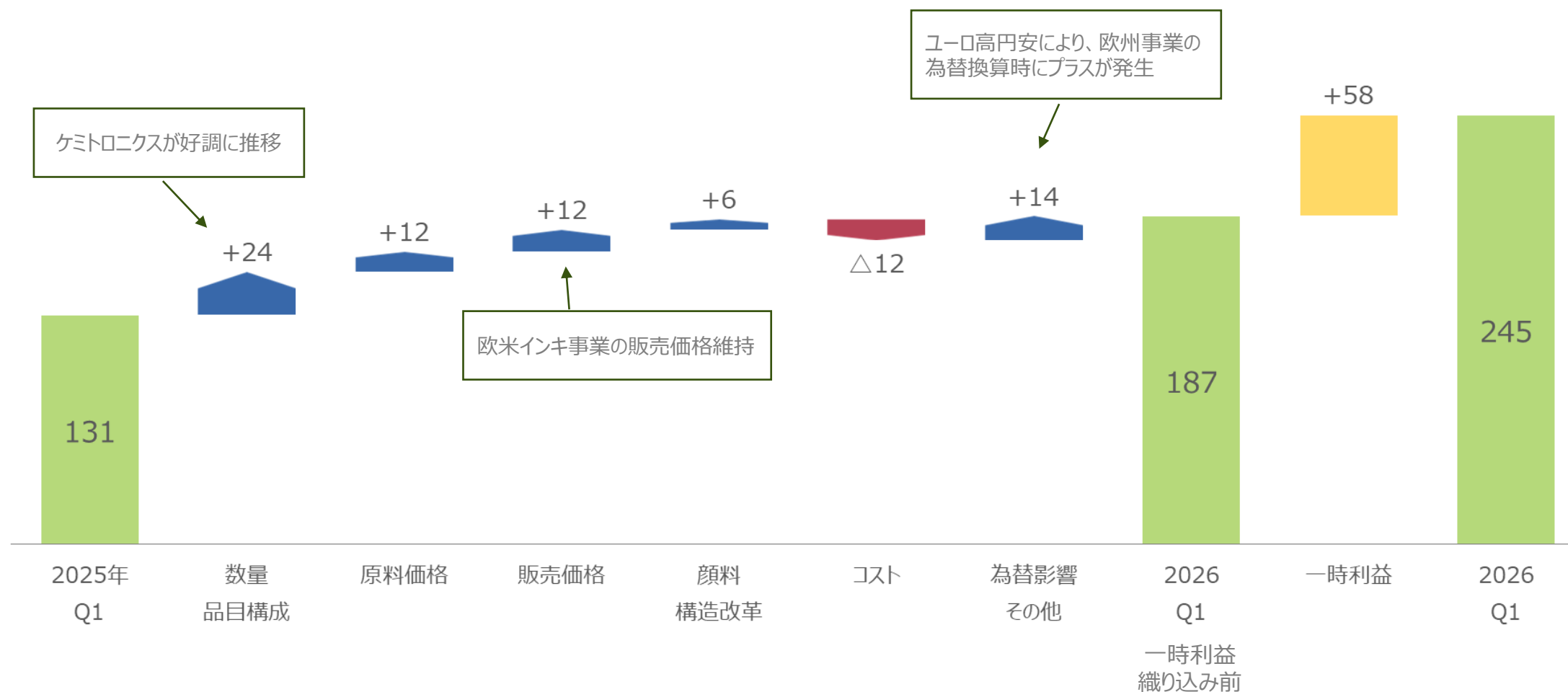
### ■ 期末レート

	2025 期末	2026 3月末
USD/円	156.60	159.62

# 営業利益増減要因

- ケミトロニクスを中心に高付加価値製品の出荷が好調に推移した

(億円)



# セグメント別業績

(億円)	売上高					営業利益					営業利益率	
	2025 Q1	2026 Q1	増減	増減比	現地通貨 ベース 増減比	2025 Q1	2026 Q1	増減	増減比	現地通貨 ベース 増減比	2025 Q1	2026 Q1
パッケージング & グラフィック	1,340	1,452	112	+ 8.4%	+ 2.4%	67	83	17	+ 25.0%	+ 18.7%	5.0%	5.7%
日本	307	307	0	+ 0.0%	+ 0.0%	10	12	2	+ 17.7%	+ 17.7%	3.4%	4.0%
米州・欧州	864	957	93	+ 10.8%	+ 2.5%	44	55	12	+ 26.6%	+ 18.4%	5.1%	5.8%
アジア他	205	226	21	+ 10.0%	+ 6.2%	13	16	4	+ 27.9%	+ 23.5%	6.1%	7.1%
連結調整	△ 36	△ 37	△ 1	-	-	△ 0	△ 0	△ 0	-	-	-	-
カラー & ディスプレイ	686	697	11	+ 1.5%	△5.1%	28	85	56	3.0倍	2.7倍	4.1%	12.1%
日本	89	83	△ 5	△5.8%	△5.8%	13	9	△ 4	△31.0%	△31.0%	15.1%	11.1%
海外	651	664	12	+ 1.9%	△5.5%	16	75	59	4.6倍	3.9倍	2.5%	11.3%
連結調整	△ 54	△ 50	3	-	-	△ 2	0	2	-	-	-	-
ファンクショナルプロダクツ	708	767	59	+ 8.4%	+ 4.1%	52	91	39	+ 75.3%	+ 67.8%	7.3%	11.8%
日本	438	465	27	+ 6.2%	+ 6.2%	25	50	25	2.0倍	2.0倍	5.6%	10.8%
海外	346	399	53	+ 15.2%	+ 6.5%	27	42	14	+ 52.0%	+ 37.8%	7.9%	10.5%
連結調整	△ 76	△ 96	△ 20	-	-	△ 0	△ 1	△ 1	-	-	-	-
その他、全社・消去	△ 113	△ 91	22	-	-	△ 16	△ 13	3	-	-	-	-
連結合計	2,621	2,825	204	+ 7.8%	+ 1.8%	131	245	115	+ 87.7%	+ 75.7%	5.0%	8.7%
USD/円	152.46	156.49		+ 2.6%		152.46	156.49		+ 2.6%			
EUR/円	160.52	183.01		+ 14.0%		160.52	183.01		+ 14.0%			



## パッケージング&グラフィック

### 売上高

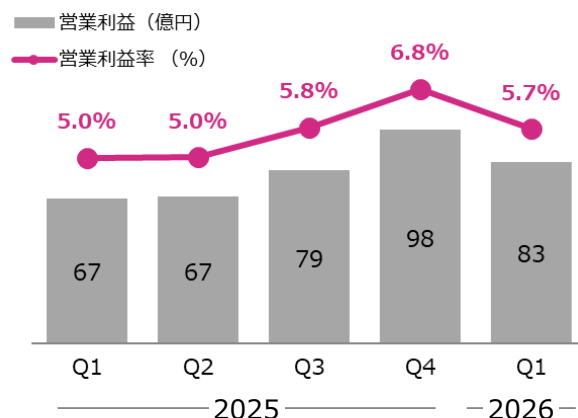
- 物価高にともなう消費の落ち込みによりパッケージ用インキの出荷数量が伸び悩んだが、スプレッドを重視した販売価格の徹底により増収
- 欧州やアジアでは中東情勢の影響を見越した顧客による調達の前倒しが見られた

### 営業利益

- ジェットインキやセキュリティインキ等の高付加価値製品の拡販および適切な価格対応により、全ての地域で増益

(億円)	売上高					営業利益					営業利益率	
	2025 Q1	2026 Q1	増減	増減比	現地通貨 ベース 増減比	2025 Q1	2026 Q1	増減	増減比	現地通貨 ベース 増減比	2025 Q1	2026 Q1
パッケージング&グラフィック	1,340	1,452	112	+ 8.4%	+ 2.4%	67	83	17	+ 25.0%	+ 18.7%	5.0%	5.7%
日本	307	307	0	+ 0.0%	+ 0.0%	10	12	2	+ 17.7%	+ 17.7%	3.4%	4.0%
米州・欧州	864	957	93	+ 10.8%	+ 2.5%	44	55	12	+ 26.6%	+ 18.4%	5.1%	5.8%
アジア他	205	226	21	+ 10.0%	+ 6.2%	13	16	4	+ 27.9%	+ 23.5%	6.1%	7.1%
連結調整	△ 36	△ 37	△ 1	-	-	△ 0	△ 0	△ 0	-	-	-	-

### 四半期営業利益/営業利益率



### 主要製品の売上高推移

増減比		
パッケージ用インキ*	+ 2%	出荷数量は伸び悩んだが、スプレッドを重視した販売価格の徹底により、増収
出版用インキ*	+ 4%	欧州において競合他社のシェアを獲得し、増収
ジェットインキ	+ 2%	一時的な在庫調整があったものの出荷が堅調に推移し、増収
ポリスチレン	△8%	前年対比での販売価格の下落により減収。4月から直近の原料動向を踏まえた値上げを実施
多層フィルム	+ 2%	出荷数量が増加し、増収

\*現地通貨ベース増減比

# カラー&ディスプレイ

## 売上高

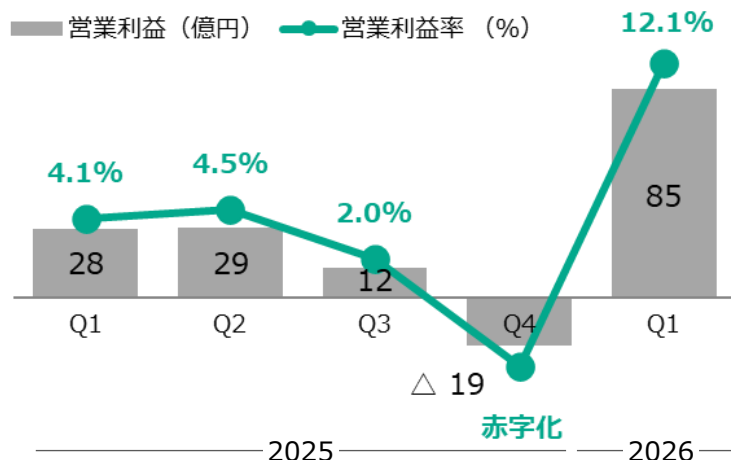
- 全般的に需要が弱く、現地通貨ベースでは減収となったが、円安による為替換算影響により増収となった

## 営業利益

- 価格改定や構造改革による収益性改善に加え、海外の顔料製造拠点で、過年度に計上した修繕に関する負債が不要になったことに伴い、58億円の取り崩しをしたことなどにより、大幅な増益となった

(億円)	売上高					営業利益					営業利益率	
	2025 Q1	2026 Q1	増減	増減比	現地通貨ベース増減比	2025 Q1	2026 Q1	増減	増減比	現地通貨ベース増減比	2025 Q1	2026 Q1
カラー & ディスプレイ	686	697	11	+ 1.5%	△5.1%	28	85	56	3.0倍	2.7倍	4.1%	12.1%
日本	89	83	△ 5	△5.8%	△5.8%	13	9	△ 4	△31.0%	△31.0%	15.1%	11.1%
海外	651	664	12	+ 1.9%	△5.5%	16	75	59	4.6倍	3.9倍	2.5%	11.3%
連結調整	△ 54	△ 50	3	-	-	△ 2	0	2	-	-	-	-

## 四半期営業利益/営業利益率



## 主要製品の売上高推移

増減比*			
顔料	塗料用	△2%	北米での寒波の影響により出荷減少
	プラスチック用	+ 4%	シェア拡大により増収
	インキ用	△0%	需要は弱い、アジアで前倒し需要が発生し、前年並み
	化粧品用	△12%	事業は安定的に推移。付加価値の低い一部製品について戦略的判断により販売を終了したため減収
	ディスプレイ用	+ 1%	パネルメーカーの稼働状況が改善傾向となり、増収
	スペシャリティ用	△3%	農業向けの出荷は前年を上回ったが、その他の用途で減収となった

\*現地通貨ベース増減比

# ファンクショナルプロダクツ

## 売上高

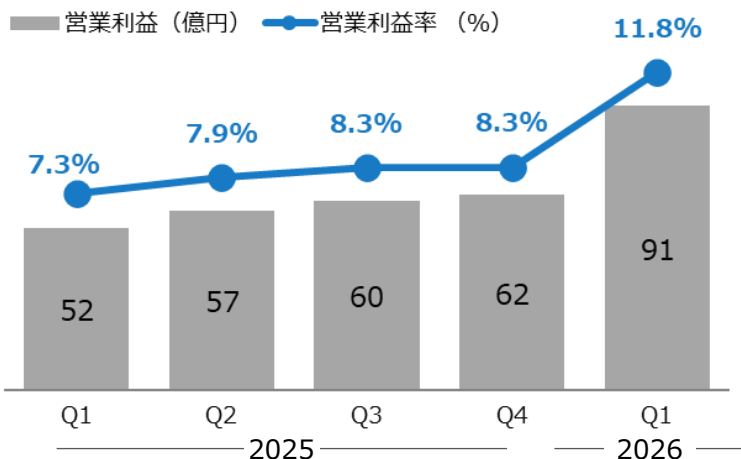
- ・ エレクトロニクスに関連する高付加価値製品の出荷が好調に推移した。加えて、コーティング用樹脂では、海外を中心に中東情勢の影響を見越した顧客による調達の前倒しが見られ、増収

## 営業利益

- ・ 高付加価値製品の増加で収益率が向上し、大幅な増益

(億円)	売上高					営業利益					営業利益率	
	2025 Q1	2026 Q1	増減	増減比	現地通貨ベース増減比	2025 Q1	2026 Q1	増減	増減比	現地通貨ベース増減比	2025 Q1	2026 Q1
ファンクショナルプロダクツ	708	767	59	+ 8.4%	+ 4.1%	52	91	39	+ 75.3%	+ 67.8%	7.3%	11.8%
日本	438	465	27	+ 6.2%	+ 6.2%	25	50	25	2.0倍	2.0倍	5.6%	10.8%
海外	346	399	53	+ 15.2%	+ 6.5%	27	42	14	+ 52.0%	+ 37.8%	7.9%	10.5%
連結調整	△ 76	△ 96	△ 20	-	-	△ 0	△ 1	△ 1	-	-	-	-

四半期営業利益/営業利益率



主要製品の売上高推移

	増減比
エポキシ樹脂	+ 26%
工業用テープ	+ 18%
UV硬化型樹脂	+ 14%
コーティング用樹脂	+ 8%
PPSコンパウンド	+ 9%
中空糸膜モジュール	△ 6%

エポキシ樹脂、工業用テープ、UV硬化型樹脂などのデジタル分野がメインとなる製品の出荷が好調に推移した。PPSコンパウンドはモビリティ関連用途と住設機器用途のいずれも出荷が好調に推移した。コーティング用樹脂は、海外を中心に在庫積み増しの動きがあり、増収となった

## ■ ファンクショナルプロダクツ 補足資料

- ファンクショナルプロダクツに含まれている**ケミトロニクス事業本部**の業績

### 売上高

- ・ AI半導体需要の増加に伴い、エポキシ樹脂の出荷が大幅に増加した
- ・ 工業用テープは、スマートフォン等のモバイル機器向けの需要を着実に取り込み、当社製品の採用が増加した

### 営業利益

- ・ 高付加価値製品の出荷が好調に推移した結果、大幅に増益

(億円)	売上高				営業利益				営業利益率	
	2025 Q1	2026 Q1	増減	増減比	2025 Q1	2026 Q1	増減	増減比	2025 Q1	2026 Q1
ケミトロニクス事業本部	145	180	35	+ 24.1%	14	36	22	2.5倍	9.7%	19.9%


主な製品：エポキシ樹脂等のパッケージ基板・プリント基板向けの熱硬化性樹脂、工業用テープ、UV硬化型樹脂、フォトレジスト用樹脂・化合物、界面活性剤

## 2026年度の業績見通し

- 中東情勢の影響額を合理的に算定することが困難であるため、上期並びに通期業績見通しを据え置く


(億円)

	2025	2026 見通し	増減比
売上高	10,522	11,000	+ 4.5%
営業利益	522	560	+ 7.3%
営業利益率	5.0%	5.1%	—
経常利益	442	480	+ 8.5%
親会社株主に帰属する当期純利益	324	330	+ 2.0%
1株当たり純利益 (円)	341.71	348.54	—
EBITDA *1	1,093	1,110	+ 1.6%
設備投資・投融資	426	534	+ 25.4%
減価償却費・のれん償却額	550	547	△0.5%
平均レート			
USD/円	150.08	150.00	△0.1%
EUR/円	169.58	168.00	△0.9%

	2025	2026 見通し
ROIC *2	4.4%	4.7%
ROE	7.4%	7.1% 
ネットD/Eレシオ *3	0.83倍	0.80倍
年間配当／株 (円)	200	140
総還元性向	58.5%	40.2%

\*2 ROIC：営業利益×（1-実効税率28%）／（ネット有利子負債＋純資産）

\*3 ネットD/Eレシオ： ネット有利子負債／自己資本

 為替換算調整勘定の増加により自己資本が積み上がったため、当期純利益は伸びる計画であるものの、ROEはやや低下する見通し。2030年ROE10%以上という計画に向けて、引き続き資本収益性の改善に取り組み、早期にROEの水準の引き上げを図る

\*1 EBITDA：親会社株主に帰属する当期純利益＋法人税等合計＋支払利息－受取利息＋減価償却費＋のれん償却額

## 2026年上期の業績見通し

- 中東情勢の影響額を合理的に算定することが困難であるため、上期並びに通期業績見通しを据え置く

(億円)	2025上期	2026上期	増減比
売上高	5,232	5,600	+ 7.0%
営業利益	270	290	+ 7.5%
経常利益	203	255	+ 25.6%
親会社株主に帰属する中間期純利益	131	170	+ 29.9%
中間配当/株 (円)	50	70	

# 2026年度のセグメント別業績見通し

- 中東情勢の影響額を合理的に算定することが困難であるため、通期業績見通しを据え置く

(億円)	売 上 高				営 業 利 益				営 業 利 益 率	
	2025	2026 見通し	増減	増減比	2025	2026 見通し	増減	増減比	2025	2026 見通し
パッケージング&グラフィック	5,497	5,770	273	+ 5.0%	311	300	△ 11	△3.4%	5.7%	5.2%
日本	1,255	1,280	25	+ 2.0%	58	60	2	+ 3.3%	4.6%	4.7%
米州・欧州	3,530	3,730	200	+ 5.7%	186	175	△ 11	△6.1%	5.3%	4.7%
アジア他	850	880	30	+ 3.6%	65	65	0	+ 0.4%	7.6%	7.4%
連結調整	△ 138	△ 120	18	-	2	0	△ 2	-	-	-
カラー & ディスプレイ	2,464	2,550	86	+ 3.5%	50	85	35	+ 71.6%	2.0%	3.3%
日本	344	360	16	+ 4.7%	49	61	12	+ 24.5%	14.3%	16.9%
海外	2,303	2,360	57	+ 2.5%	1	24	23	26.4倍	0.0%	1.0%
連結調整	△ 184	△ 170	14	-	△ 0	0	0	-	-	-
ファンクショナルプロダクツ	2,909	2,980	71	+ 2.5%	231	245	14	+ 6.1%	7.9%	8.2%
日本	1,797	1,810	13	+ 0.7%	108	114	6	+ 5.8%	6.0%	6.3%
海外	1,431	1,470	39	+ 2.7%	123	131	8	+ 6.6%	8.6%	8.9%
連結調整	△ 320	△ 300	20	-	0	0	△ 0	-	-	-
その他、全社・消去	△ 347	△ 300	47	-	△ 69	△ 70	△ 1	-	-	-
連結合計	10,522	11,000	478	+ 4.5%	522	560	38	+ 7.3%	5.0%	5.1%
USD/円	150.08	150.00		△0.1%	150.08	150.00		△0.1%		
EUR/円	169.58	168.00		△0.9%	169.58	168.00		△0.9%		

# ファンクショナルプロダクツ 補足資料

- 中東情勢の影響額を合理的に算定することが困難であるため、通期業績見通しを据え置く

- ファンクショナルプロダクツに含まれている**ケミトロニクス事業本部**の業績

(億円)	売 上 高				営 業 利 益				営業利益率	
	2025	2026 見通し	増減	増減比	2025	2026 見通し	増減	増減比	2025	2026 見通し
ケミトロニクス事業本部	653	680	27	+ 4.2%	78	93	15	+ 19.0%	12.0%	13.7%



# 参考資料

---



## その他の主なトピックス (2026年2月～2026年5月)

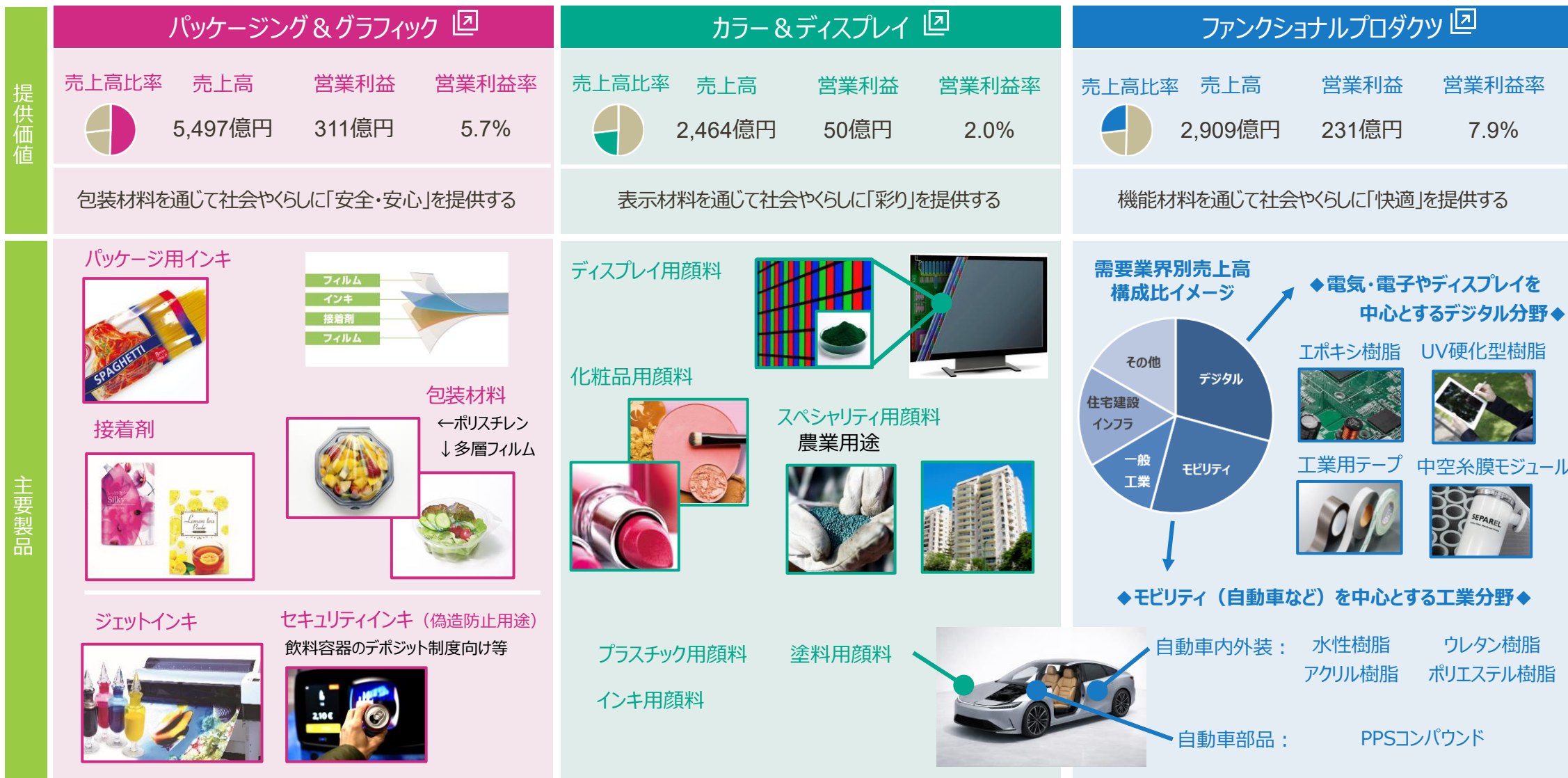
ニュースリリース 2026年  
<https://www.dic-global.com/ja/news/2026/>


- 2月 フィジカルAIの事業創出加速に向けスイスのEmerald社と戦略的パートナーシップを締結
- 3月 米国デラウェア州ニューポートでキナクリドン生産に投資
- 3月 劣後特約付タームローンによる総額200億円の資金調達、および2021年9月30日に実行した劣後特約付ローン600億円の期限前弁済の実施予定を発表
- 3月 活性エステル型エポキシ樹脂硬化剤が「2025年度高分子学会賞(技術部門)」を受賞
- 3月 持分法適用関連会社である太陽ホールディングスの株式を太陽HDに売却し、資本業務提携を解消することを発表  
売却の完了は、2027年2月上旬～3月上旬の予定
- 4月 リサイクル性を高める環境対応インキ「SHIOLESS®」、グローバル展開を強化



# 事業セグメントと主要製品

2025年度実績数値



## セグメント情報の集計方法の変更

(億円)	売上高			営業利益		
	2025 変更前	変更額	2025 変更後	2025 変更前	変更額	2025 変更後
パッケージング & グラフィック	5,497		5,497	311	△ 0	311
日本	1,255		1,255	58		58
米州・欧州	3,530		3,530	186		186
アジア他	850		850	65		65
連結調整	△ 138		△ 138	2	△ 0	2
カラー & ディスプレイ	2,475	△ 11	2,464	50	△ 0	50
日本	344		344	49		49
海外	2,303		2,303	1		1
連結調整	△ 173	△ 11	△ 184	△ 0	△ 0	△ 0
ファンクショナルプロダクツ	2,909		2,909	231	△ 0	231
日本	1,797		1,797	108		108
海外	1,431		1,431	123		123
連結調整	△ 320		△ 320	0	△ 0	0
その他、全社・消去	△ 358	11	△ 347	△ 70	1	△ 69
連結合計	10,522	0	10,522	522	0	522
ファンクショナルプロダクツに含まれているケミトロニクス事業本部						
ケミトロニクス事業本部	653		653	78	0	78

- 当社は、2026年12月期を起点とする長期経営計画「DIC Vision 2030」Phase 2において、「資本効率の改善によるキャッシュ創出の最大化」を重点テーマの一つとして挙げており、達成度を測る指標の一つとして2030年度のROIC目標値をセグメント別に設定し、資本コストを上回る高い資産・資本効率の実現に取り組んでいます。
- これに伴い、各報告セグメントの資産・資本効率をより的確に反映するため、2026年度より、セグメント情報の集計方法を変更しています。
- 本資料の2025年度実績は、変更後の集計方法により作成したものを記載しています。
- なお、本変更による営業利益への影響は軽微です。

# セグメント別四半期業績推移

(億円)	売 上 高					営 業 利 益				
	2025 Q1	2025 Q2	2025 Q3	2025 Q4	2026 Q1	2025 Q1	2025 Q2	2025 Q3	2025 Q4	2026 Q1
パッケージング & グラフィック	1,340	1,348	1,373	1,436	1,452	67	67	79	98	83
日本	307	315	312	321	307	10	15	17	16	12
米州・欧州	864	863	877	926	957	44	38	46	58	55
アジア他	205	204	217	223	226	13	14	16	23	16
連結調整	△ 36	△ 35	△ 33	△ 34	△ 37	△ 0	1	0	0	△ 0
カラー & ディスプレイ	686	627	606	544	697	28	29	12	△ 19	85
日本	89	92	82	81	83	13	17	10	8	9
海外	651	583	564	505	664	16	10	2	△ 27	75
連結調整	△ 54	△ 48	△ 41	△ 42	△ 50	△ 2	1	△ 0	0	0
ファンクショナルプロダクツ	708	721	729	750	767	52	57	60	62	91
日本	438	451	434	474	465	25	28	27	29	50
海外	346	351	374	360	399	27	29	33	33	42
連結調整	△ 76	△ 81	△ 79	△ 84	△ 96	△ 0	0	1	0	△ 1
その他、全社・消去	△ 113	△ 85	△ 82	△ 67	△ 91	△ 16	△ 13	△ 17	△ 23	△ 13
連結合計	2,621	2,611	2,626	2,663	2,825	131	139	135	117	245

# 連結貸借対照表

(億円)	2025 期末	2026 3月末	増 減
流動資産	6,275	6,562	286
有形固定資産	3,711	3,722	11
無形固定資産	621	617	△ 5
投資その他の資産	2,133	2,135	2
<b>資産合計</b>	<b>12,741</b>	<b>13,036</b>	<b>295</b>
流動負債	3,865	3,837	△ 29
固定負債	3,967	4,180	213
<b>負債合計</b>	<b>7,832</b>	<b>8,017</b>	<b>184</b>
株主資本	3,992	4,041	50
その他の包括利益累計額	717	787	70
(為替換算調整勘定)	(642)	(720)	(78)
非支配株主持分	200	190	△ 9
<b>純資産合計</b>	<b>4,908</b>	<b>5,019</b>	<b>110</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>12,741</b>	<b>13,036</b>	<b>295</b>
有利子負債残高	4,583	4,744	161
現預金残高	689	850	161
ネット有利子負債	3,894	3,894	△ 0

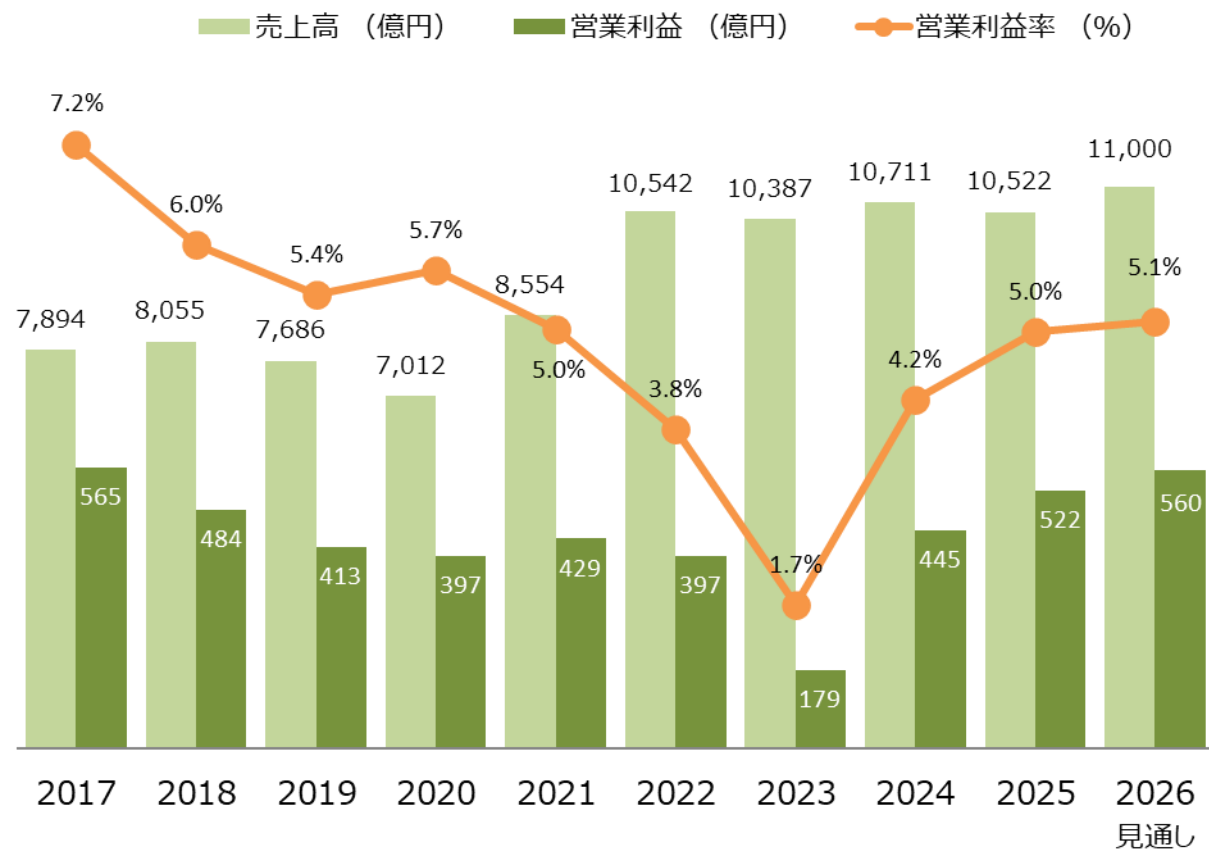
## 連結キャッシュ・フロー計算書（参考）

（億円）	2025 Q1	2026 Q1	増 減
営業キャッシュ・フロー	108	246	137
投資キャッシュ・フロー	△ 90	△ 89	1
財務キャッシュ・フロー	8	△ 18	△ 26
現金及び現金同等物の期末残高	606	831	225
<b>フリーキャッシュ・フロー</b>	<b>19</b>	<b>157</b>	<b>138</b>
運転資本の増減額	△ 92	△ 27	66
設備投資・投融資	117	128	11
減価償却費・のれん償却額	136	139	3

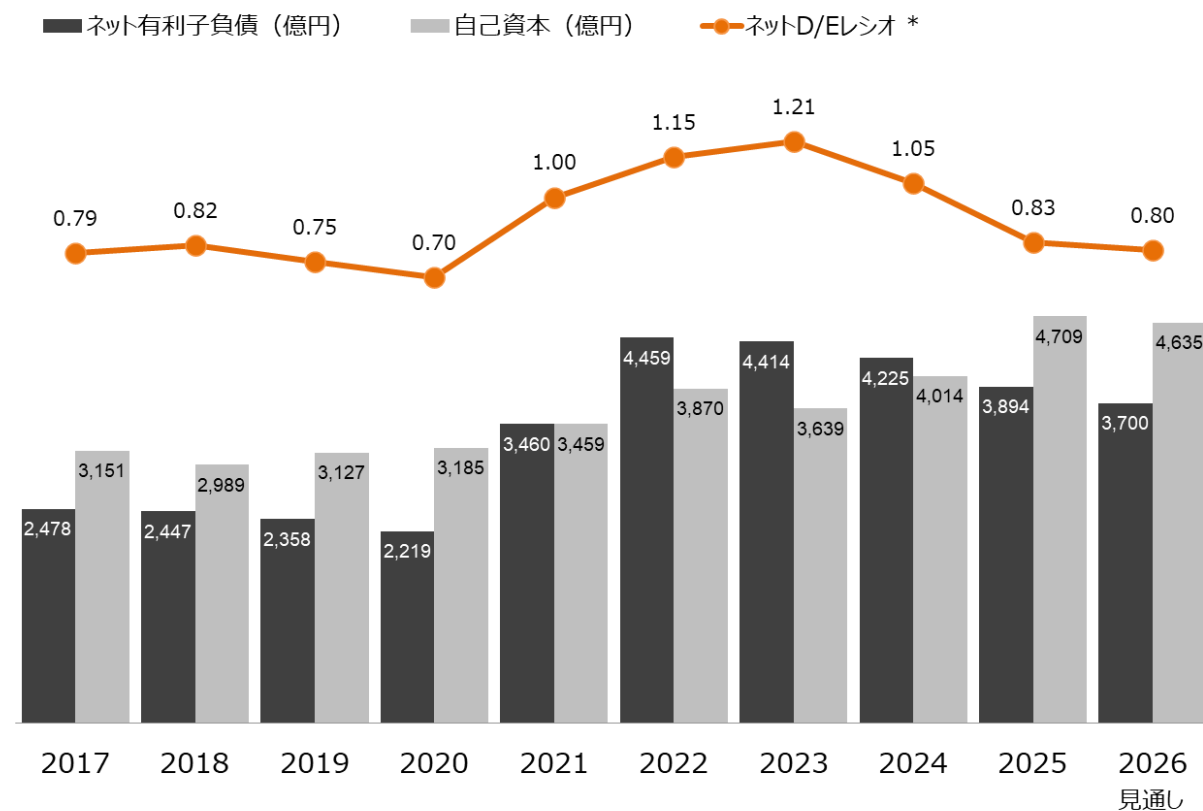
注）連結キャッシュ・フロー計算書は、レビュー対象外のため参考情報です

# 業績の推移

業績



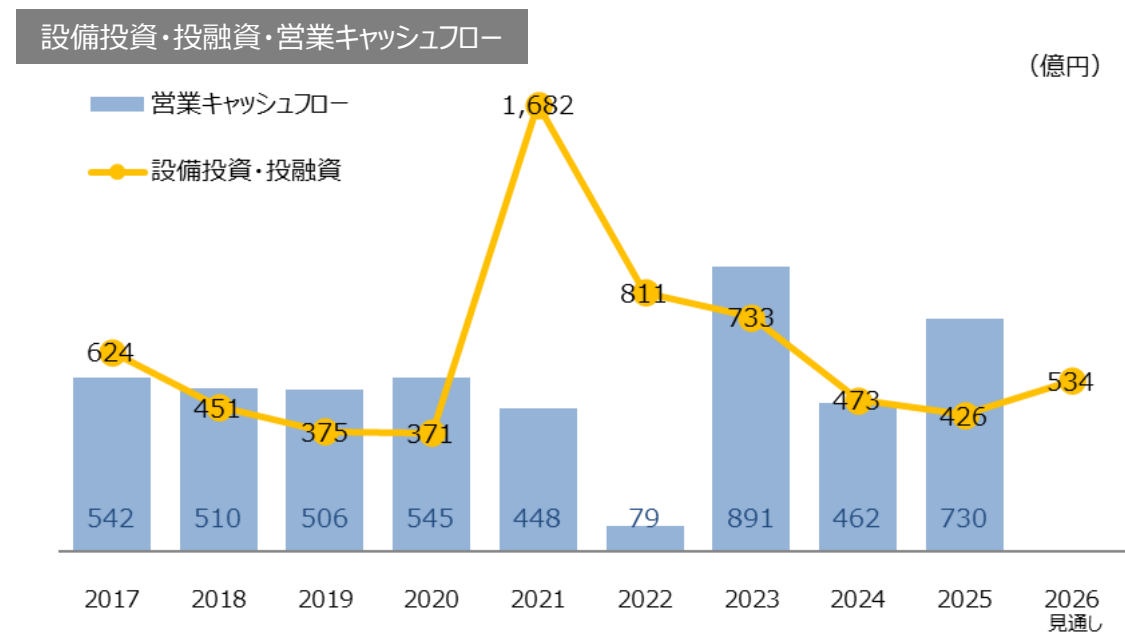
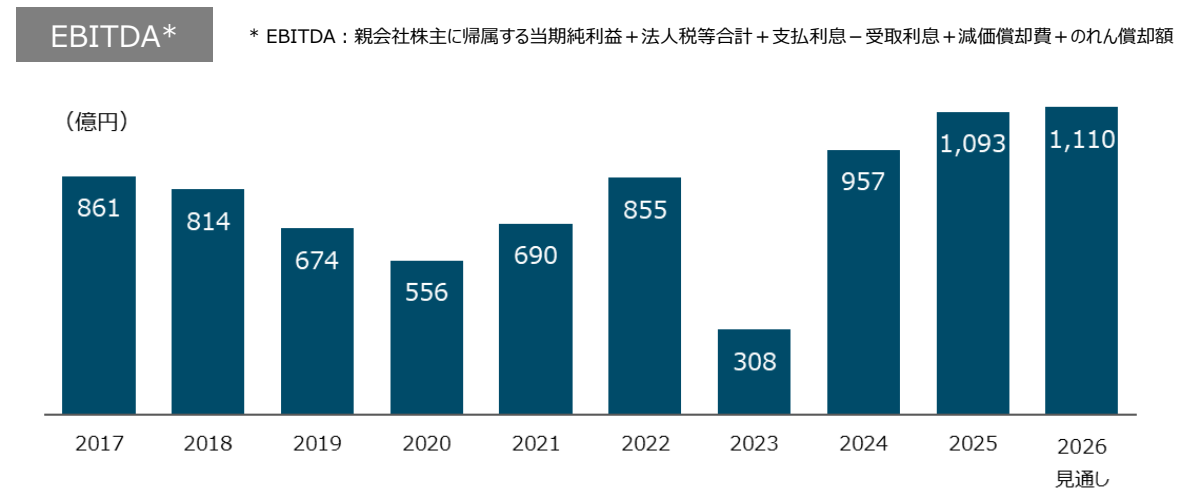
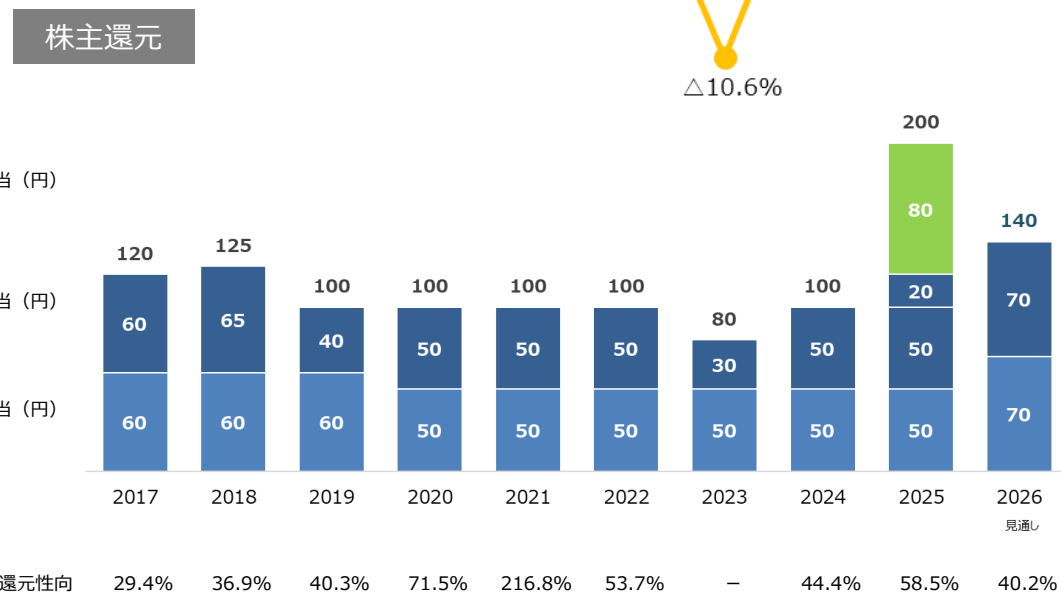
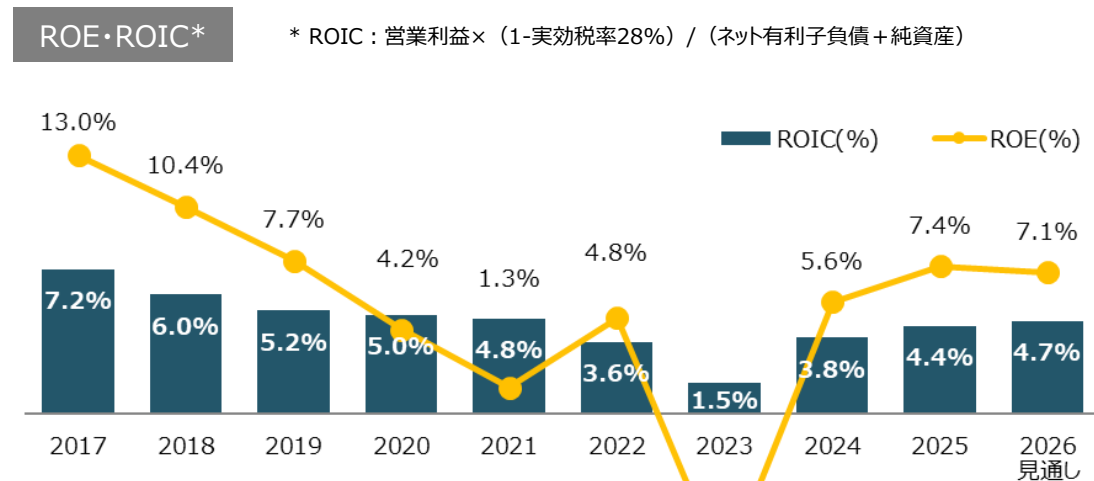
財務体質



\* ネットD/Eレシオ： ネット有利子負債／自己資本



# 業績の推移



## 本資料の前提について

- 中東情勢の影響額を合理的に算定することが困難であるため、業績見通しは2026年2月16日に公表した数値を据え置きます。したがって、前提も変更しておりません。

【為替レート】	2025				2026	2026前提	前回の前提
	Q1	上期	Q3累計	年間	Q1	通期	通期
USD/円 平均レート	152.46	148.58	148.42	150.08	156.49	150.00	150.00
USD/円 期末レート	149.05	143.91	148.29	156.60	159.62	150.00	150.00

【原料】	2025				2026	2026前提	前回の前提
	1－3月	4－6月	7－9月	10－12月	1－3月	通期	通期
原油（WTI）ドル/バレル	71.40	63.70	64.90	59.10	71.90	65.00	65.00
国産ナフサ 円/kl	73,400	66,300	63,200	65,600	65,700	65,000	65,000

### 【決算期】

当社グループの決算期は、海外子会社・国内会社ともに1月1日から12月31日までの12ヶ月を連結対象期間としています。当期は、2026年1月1日から3月31日までの3ヶ月間を連結対象期間として記載しています。

## ＜予想に関する注意事項＞

本資料は、情報の提供を目的としており、いかなる勧誘行為を行うものではありません。  
業績見通しは、現時点で入手可能な情報に基づき、当社の経営者が判断した見通しですが、  
実際の売上高及び利益は、記載している予想数値とは大きく異なる場合がありますことをご承知おきください。

当社は、業績見通しの正確性・完全性に関する責任を負うものではありません。

ご利用に際しては、ご自身の判断にてお願いいたします。

本資料に全面的に依存して投資判断を下すことによって生じ得るいかなる損失に関しても、  
当社は責任を負うものではありません。



Color & Comfort



**DIC Corporation**